ステンレス条鋼
1月販売11%減
全ス協統計

全国ステンレス流通協会連合会のステンレス条鋼流通統計によると、1月の条鋼（棒鋼・形鋼・平鋼）販売は1万3424トンで前月比1・4%増、前年同

活発ではないが、昨秋以降は底堅く推移している。ただ14年1～3月は値上げ局面で荷動きが盛り上がったため、その反動影響で対前年同月の販売は2ケタ割れとなった。

品種別販売は棒鋼が6631トンで前月比0・9%減、前年同

67トンで前月比0・7%減、前年同月比15・3%減。

詳細は別表。

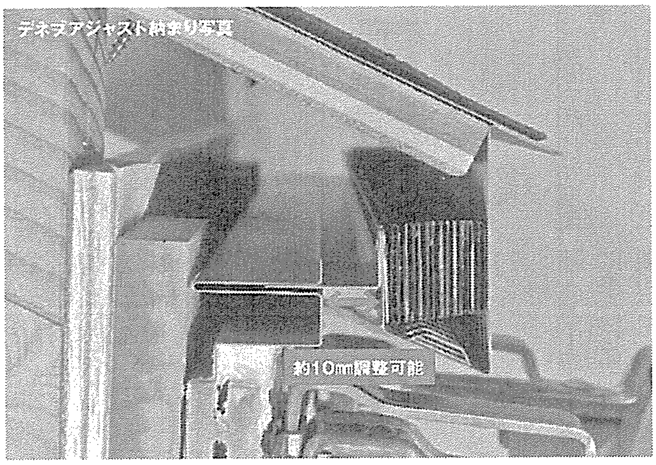
レス条鋼全国流通販売と在庫

（単位：トン）

	販売量	月末在庫	在庫増減
	5,242	19,708	▼581
	1,390	5,146	▼276
	0	0	0
計	6,631	24,854	▼858
延品	1,587	6,491	▼105
形品	1,339	3,849	225
延品	0	0	0
形品	0	0	0
延品	0	0	0
形品	0	0	0
計	2,926	10,339	121
延品	3,378	9,561	▼163
形品	453	1,431	▼72
延品	2	38	▼3
形品	35	154	▼2
延品	0	0	0
形品	0	0	0
計	3,867	11,184	▼239
計	13,424	46,377	▼976

流通・加工

ハウゼコ
軒先換気部材を開発、発売



軒先換気部材「デネブアジャスト」

換気部材メーカーのハウゼコ（本社・大阪市中央区、社長・神戸睦史氏）はこのほど、軒先換気部材「デネブアジャスト」（特許取得済み）を開発、発売した。「デネブアジャスト」はビルダーやハウスメーカー向けに売り出し中だが、引き合いは順調だ。

「デネブアジャスト」の大きな特長はアジャスト機能を持たせ軒先納まりの微調整が可能なことと、通気が取りにくい屋根断熱時の吸気経路の確保がしやすいことにある。

「従来製品はアジャスト機能がなかったため野地板の出寸法を指定通りに施工する必要があったが、新デネブでは柔軟に対応できる」（神戸社長）。

昨今、デザイナー住宅が増えている。その特長は軒の出が少ない上に、屋根断熱で勾配天井であることが多い。天井断熱に比べて熱橋（ヒートブリッジ）になりやすく結露リスクが高くなる。それだけに通気経路の確保が重要だが、軒の出が少ない住宅で施工性が良い換気部材はこれまで製品化されていなかった。

初のインターン

手がけるMonotaRO（モノタロウ、本

る。学生に職業適性や将来設計を考える機会

よるワークショップを通じ、システム開発、マーケティング業務の2コースから実業務を体験できる。

16年3月に4年制大学・大学院を卒業・修

全鉄連役員アンケート《下》
東海、北陸、関西、中国編
条鋼建材、荷動き
需要家の値下げ

【静岡】▽回復は業種によりまだら模様で鈍い▽市況は弱含みの展開で値下げ要求が強く、当用買いが続いている▽量を求めて市況無視の商売が出ている。期末にかけて続くものと思う。

【石川】▽大型物件がなく、売上げは下がり傾向である▽相場が守られている中、他県の同業者がわずかな量で安値を提出している。地元の価格を守ってもらいたい▽小規模ファブに空きが出てきた▽鉄筋加工業者にも空き時期が出てきた▽鉄も安かろう、悪かろうでは続かないようになってほしい。

【富山】▽民間、公共事業とも間延びしながら安定した仕事は出てきている様子▽鉄骨価格も材料単価も乗じて利益確保したいが、現実は拡大路線業者との競争で薄利になる。

【福井】▽荷動き低調で、価格もじり安傾向。地場の建築案件に目立った動きはない。

【愛知】▽鋼製家具はシーズン入りという感じが乏しい▽陳列関係もピークアウト状態で活気に欠ける▽自動車もメーカー発表による減産である▽アメリカでスクラップが暴落し、輸出単価の値下げが気になる▽短納期、小ロットに追いかけられていて日々の仕事は忙しいが、締めてみるとまったく数字が良くない状況が続いている▽顧客も流通も現場が比較的に空いている証拠だと思うが、日々の仕事量の多さにつながるのは春先以降ではないか▽2月に入り、荷動きは閑散としている